



Investor relations presentation material

2021.12

I : 2022年3月期 中間決算概要		II : 2022年3月期 決算予想・中期経営計画	
	頁		頁
2022年3月期 中間決算概要	2	2022年3月期 決算予想	14
貸出金残高	3	中期経営計画「Let's Do It!」	15
貸出金の状況<岐阜県・愛知県>	4	中期経営計画：計数目標（KPI）の進捗状況	16
預金残高・預り資産残高	5	法人向けコンサルティング	17
個人取引の状況<岐阜県・愛知県>	6	個人向けコンサルティング	18
有価証券運用の状況	7	地域活性化に向けた取り組み	19
業務粗利益の状況	8		
経費の状況	9		
不良債権残高・与信関係費用の状況	10		
自己資本の状況（連結）	11		
配当政策	12		
		III : ESG・SDGsへの取り組み、基本理念	
			頁
		Environment（環境）	21
		Social（社会）	22
		Social（社会）－新型コロナウイルス感染症対策	23
		Governance（ガバナンス）	24
		基本理念	25

I : 2022年3月期 中間決算概要

II : 2022年3月期 決算予想・中期経営計画

III : ESG・SDGsへの取り組み、基本理念

2022年3月期 中間決算概要

単体【単位：億円】	2020/9期	2021/9期	前年同期比	増減率
経常収益	360	351	▲9	▲2.5%
業務粗利益	286	281	▲5	▲1.8%
資金利益	244	243	▲0	▲0.3%
役務取引等利益	19	23	4	21.7%
その他業務利益	22	13	▲8	▲38.5%
うち国債等債券損益（5勘定戻）… A	5	9	4	74.2%
うち貸出金関係損益	16	1	▲15	▲92.3%
経費	220	209	▲10	▲4.6%
人件費	120	113	▲7	▲5.9%
物件費	87	85	▲2	▲2.3%
税金	11	11	▲0	▲7.5%
実質業務純益（※1）	66	71	4	7.3%
コア業務純益（※2）	60	61	0	1.3%
コア業務純益（除く、投資信託解約損益）	58	60	1	2.3%
一般貸倒引当金繰入額…①	▲2	-	2	-
業務純益	69	71	2	3.0%
臨時損益	▲3	10	14	-
不良債権処理額…②	4	0	▲4	▲99.3%
うち個別貸倒引当金繰入額	4	-	▲4	-
株式等関係損益（3勘定戻）… B	4	6	1	21.4%
経常利益	65	81	16	24.7%
特別損益	▲0	▲2	▲1	-
税引前当期純利益	64	79	14	22.0%
中間純利益	50	57	6	13.6%
有価証券関係損益（A+B）	10	15	5	48.9%
与信関係費用（①+②）	1	▲7	▲9	-

※1 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

2021年9月期 経常利益
前期比 +16億円

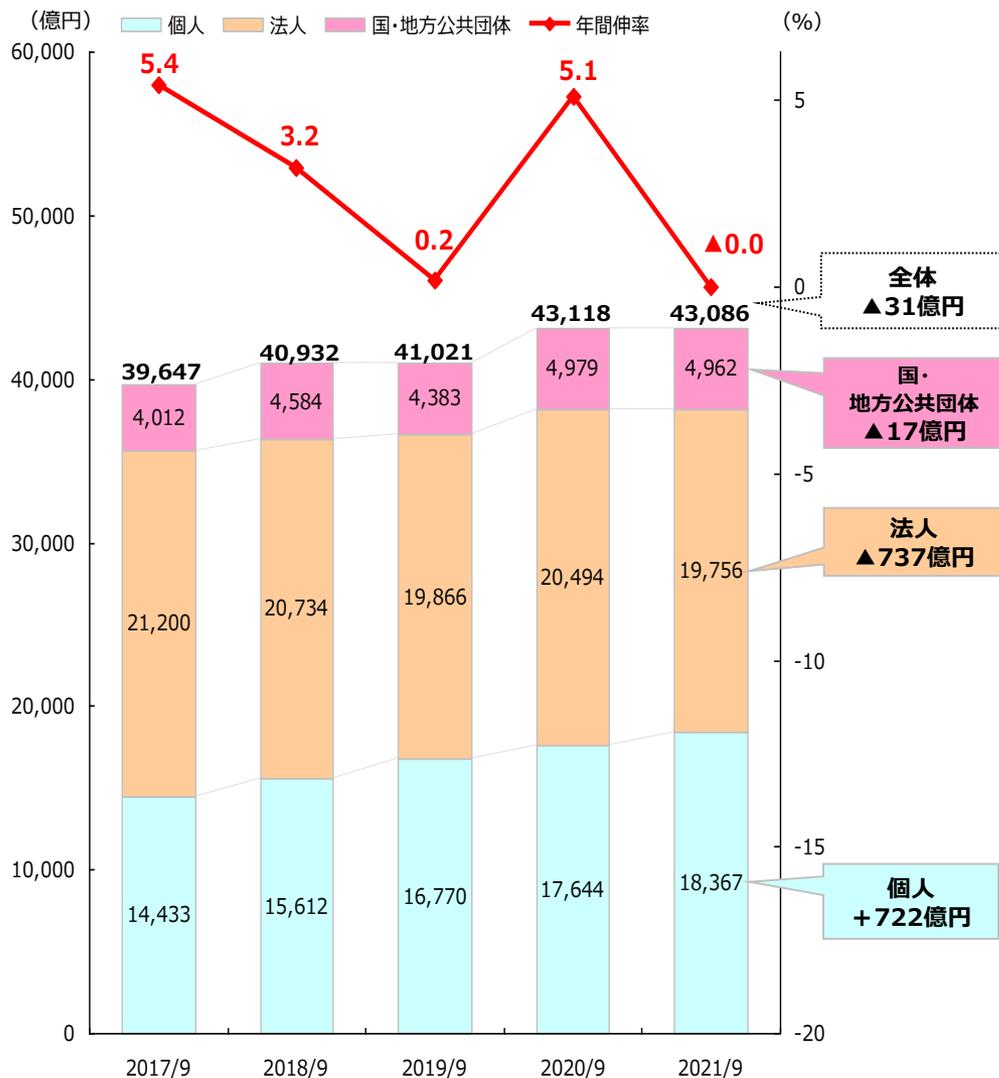
〈増加要因〉

役務取引等利益の増加	4億円
経費の減少	10億円
臨時損益の増加	14億円

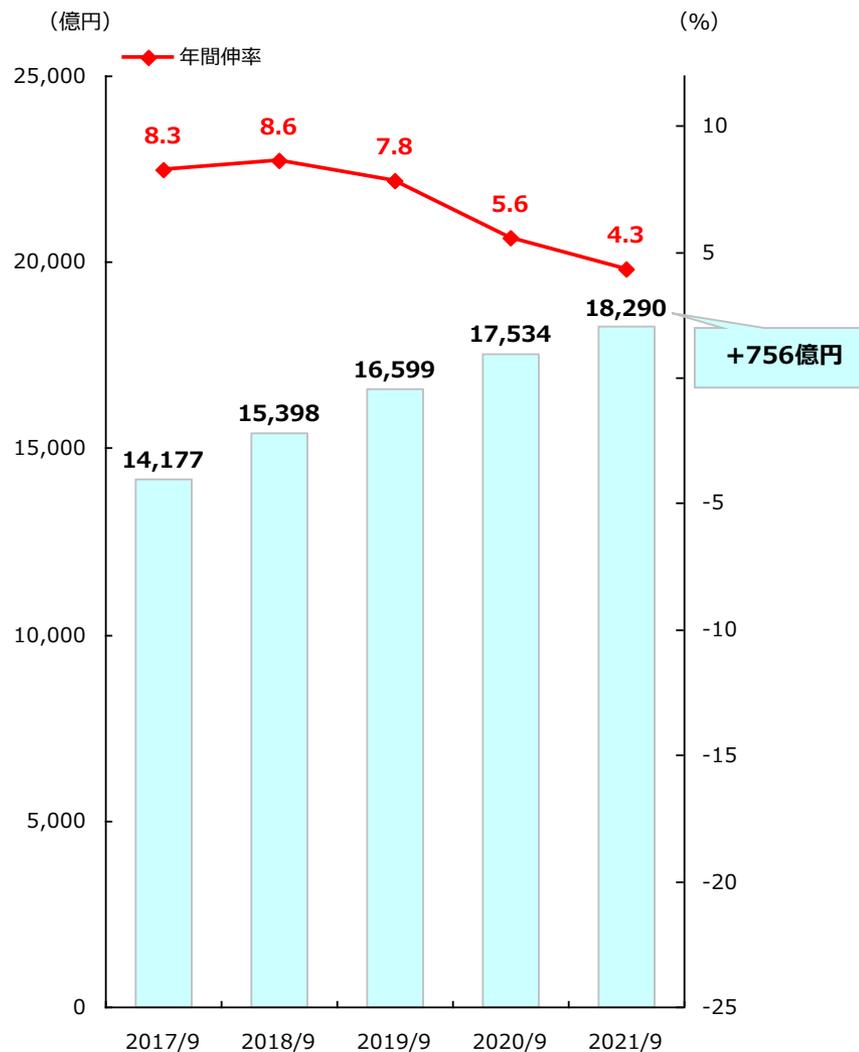
〈減少要因〉

その他業務利益の減少	8億円
一般貸倒引当金繰入額の増加	2億円

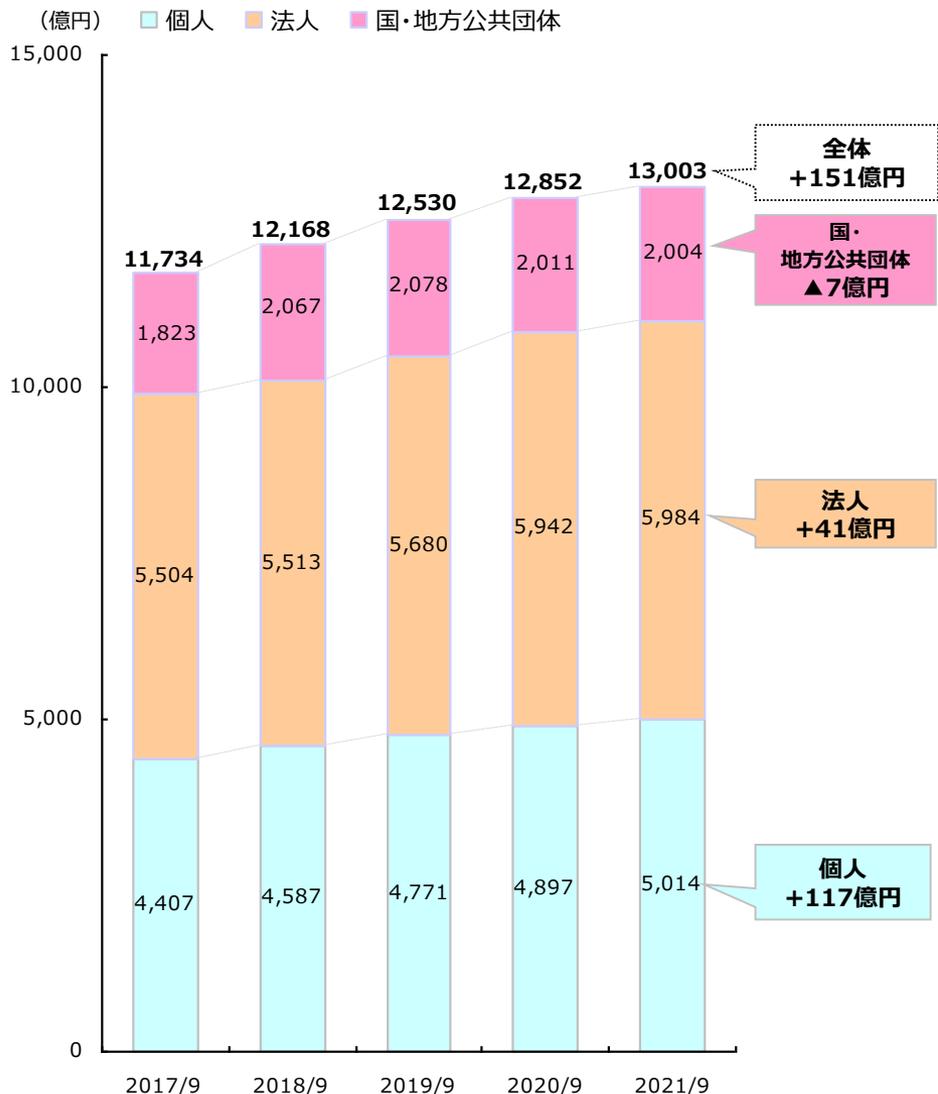
主体別貸出金残高推移



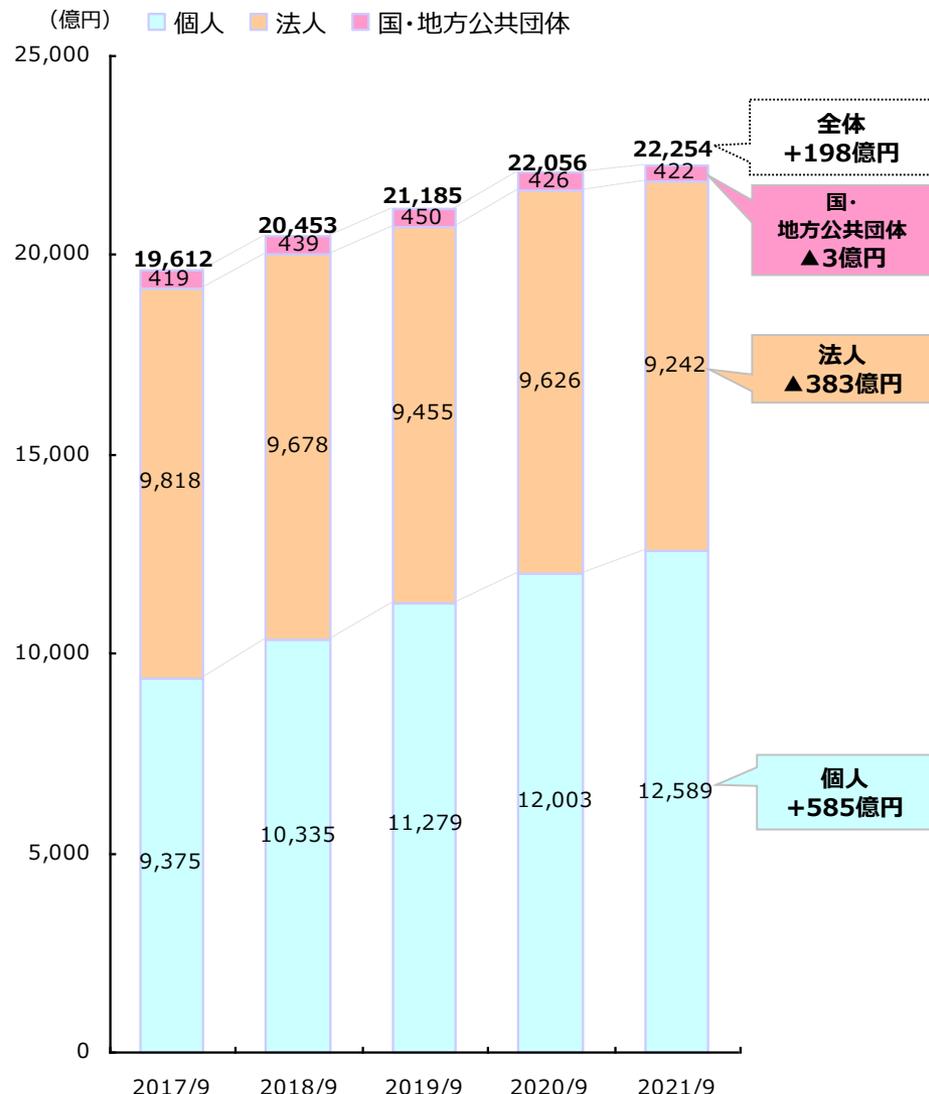
住宅ローン残高推移



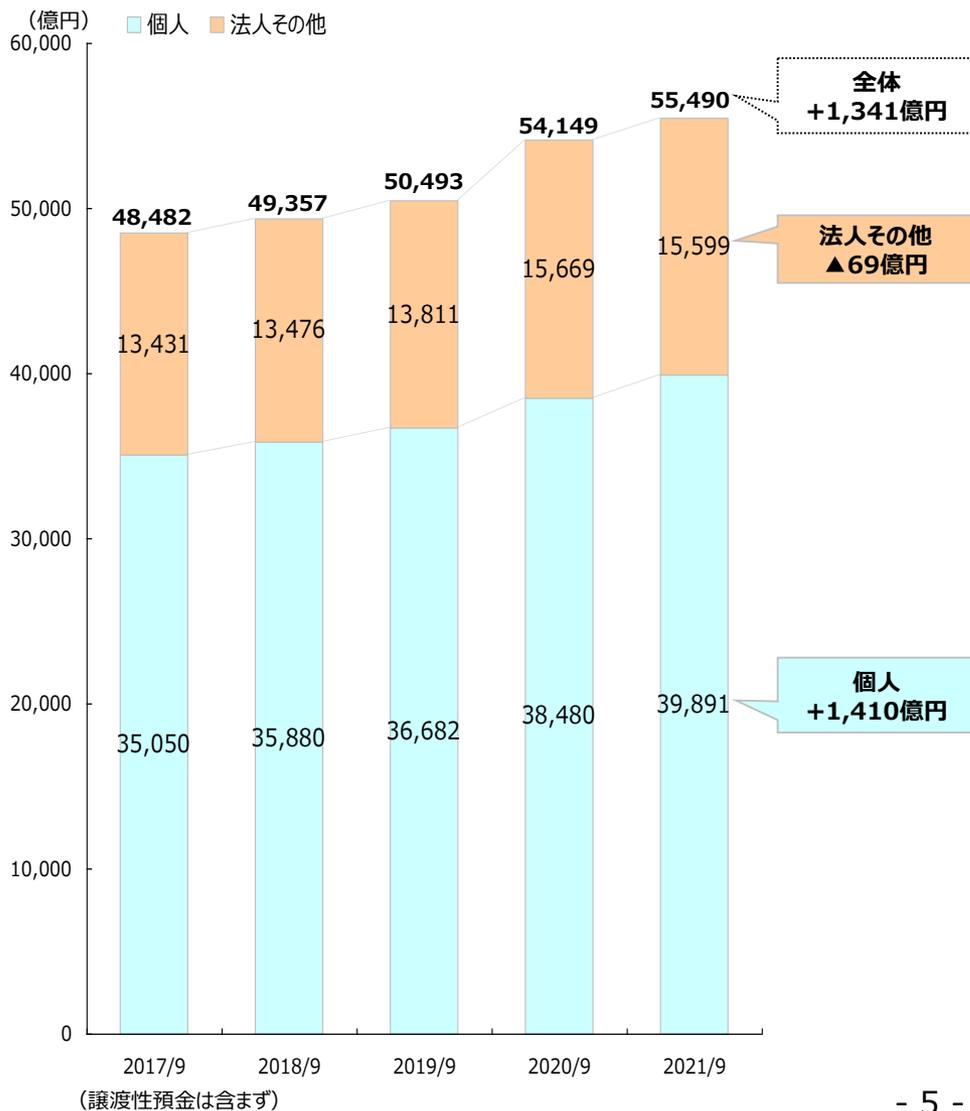
岐阜県



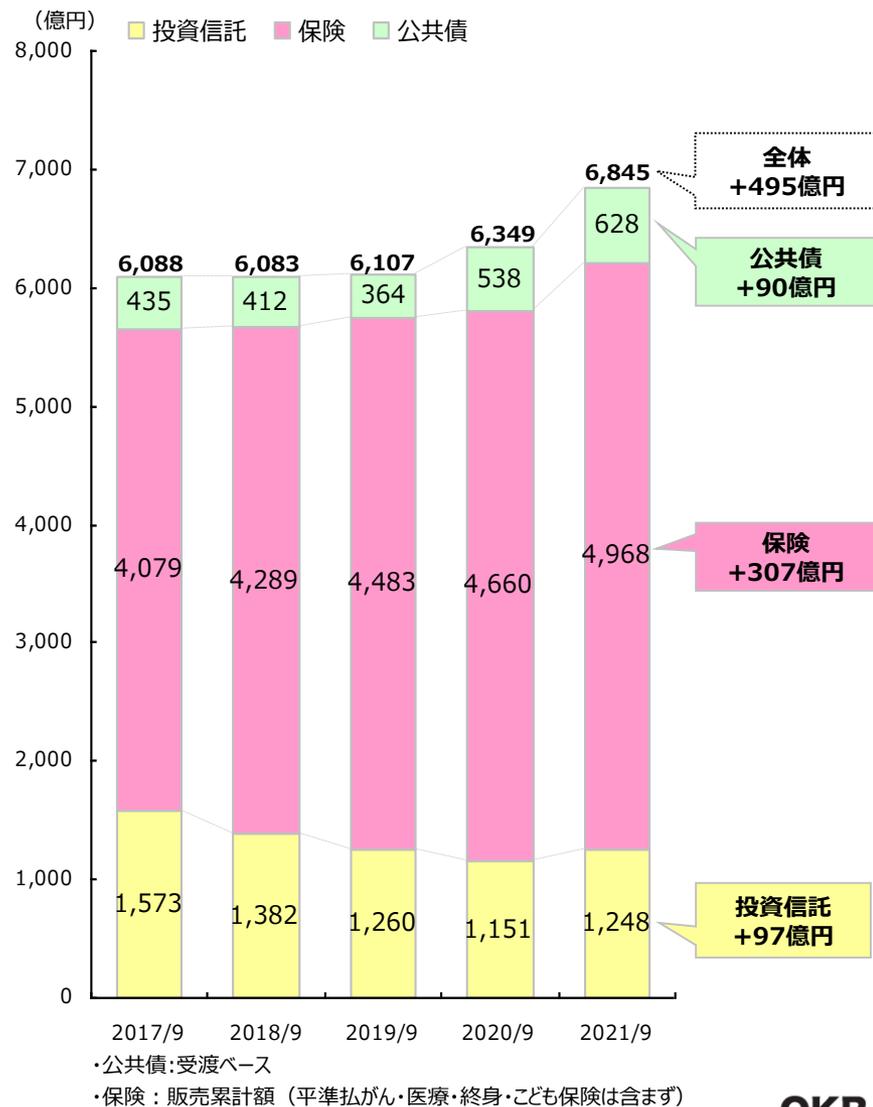
愛知県



主体別預金残高推移



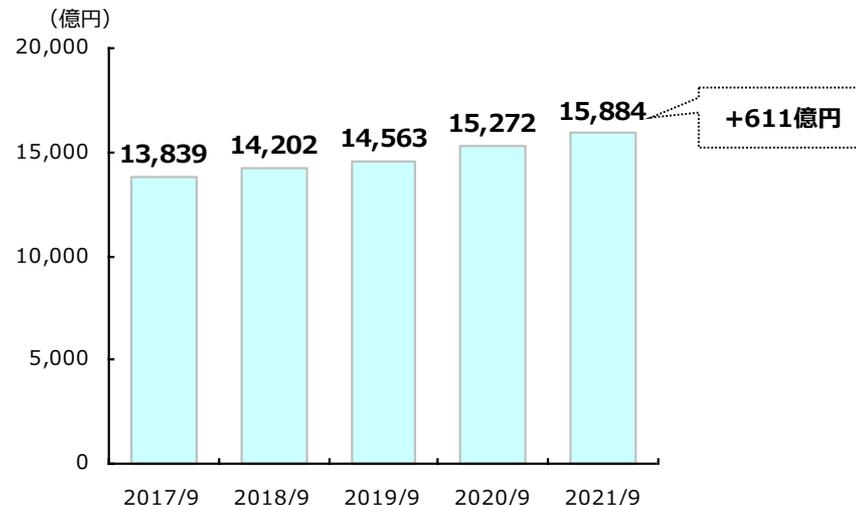
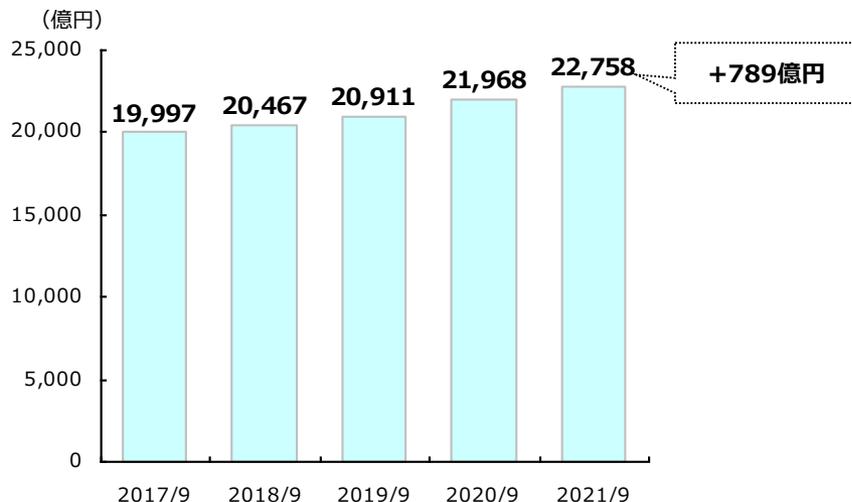
預り資産残高推移



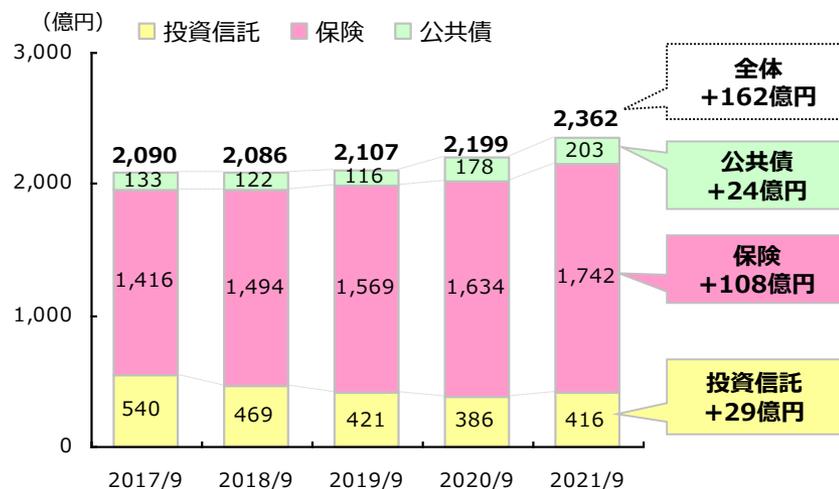
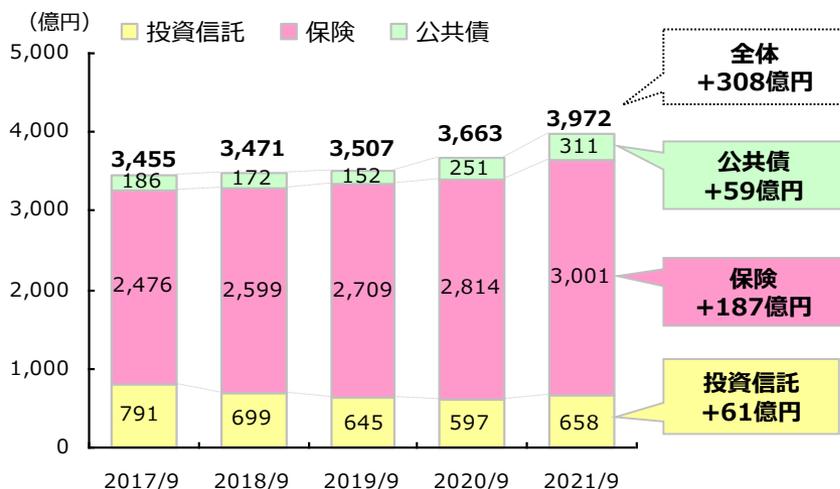
岐阜県

愛知県

個人預金残高推移



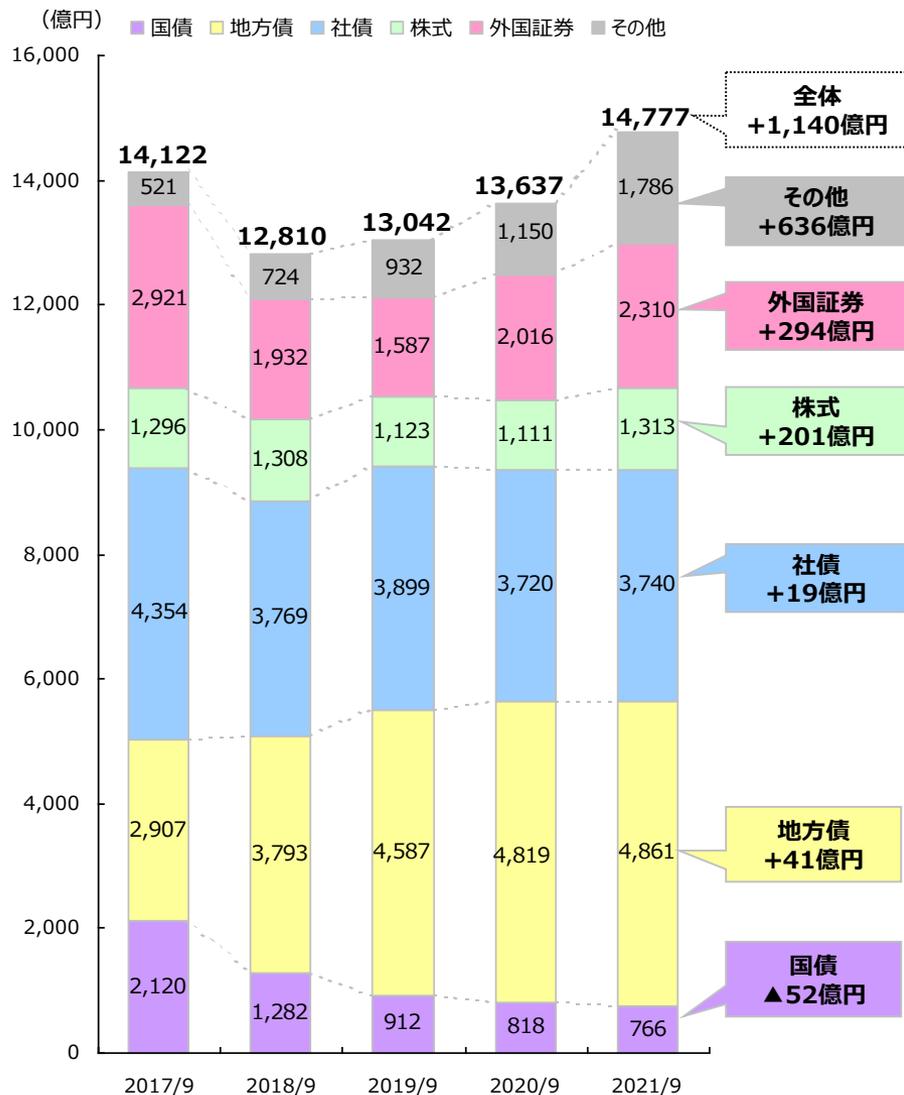
個人預り資産残高推移



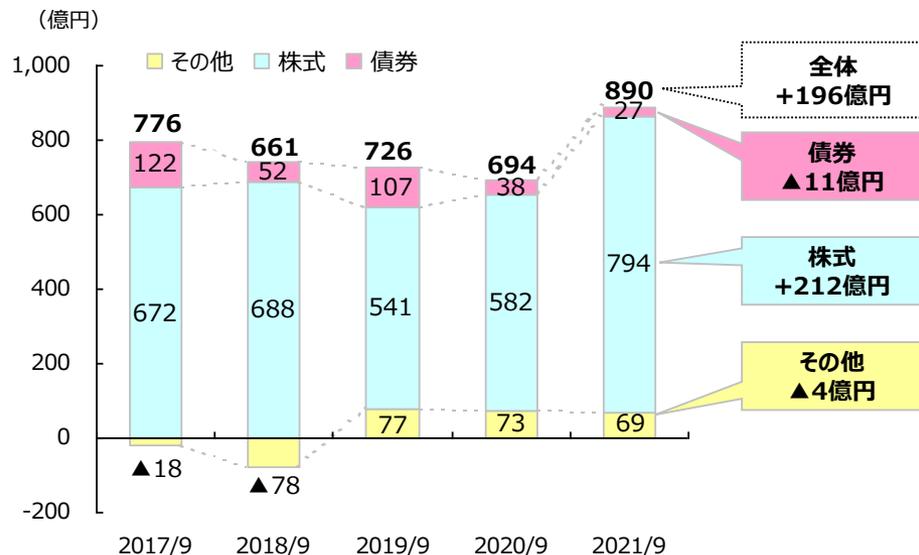
・公共債：受渡ベース
 ・保険：販売累計額（平準払がん・医療・終身・子ども保険は含まず）

・公共債：受渡ベース
 ・保険：販売累計額（平準払がん・医療・終身・子ども保険は含まず）

有価証券残高推移



その他有価証券評価損益推移

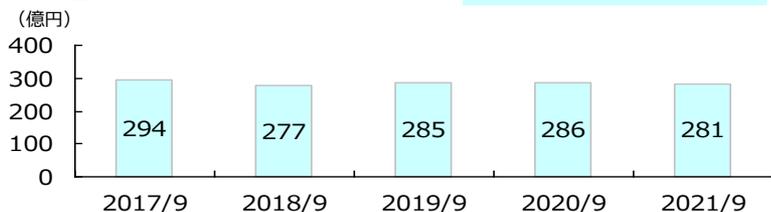


外国証券・その他の内訳 (2021年9月末)

外国証券		2,310	その他		1,786
外貨	2,281		投資信託	1,703	
邦貨	29		J-REIT	80	
投資信託	0		ETF	200	
その他	29		その他	1,422	
			投資事業組合	82	

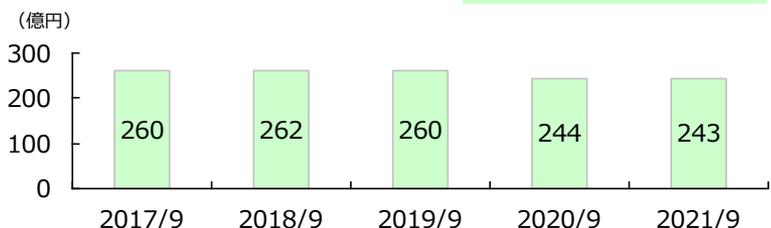
業務粗利益の推移

前期比 ▲5億円



資金利益の推移

前期比 ▲0億円



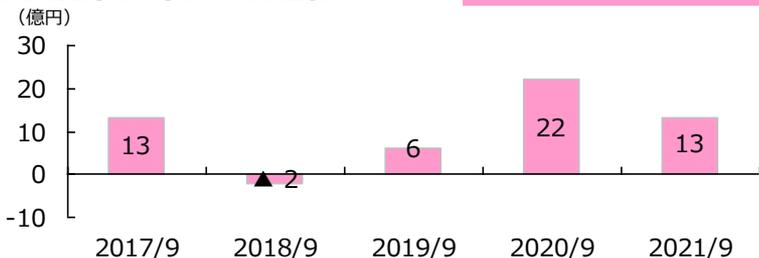
役員取引等利益の推移

前期比 +4億円



その他業務利益の推移

前期比 ▲8億円



増減要因

<資金利益>

		(単位：億円、%)		前期比	影響
収益	貸出金	平残	+510	+2	▲0
		利回	▲0.01	▲3	
	有価証券	株式配当金・投信分配金		+3	▲5
		債券利息 (円貨・外貨)		▲8	
短期運用	預け金利息			+5	
その他	金利スワップ受入利息			▲6	
費用	預金等	平残	+2,781	+0	▲1
		利回	▲0.01	▲2	
	市場調達	売現先、債券貸借取引、コールマネー			▲1
	その他	日銀借入金利息			▲3

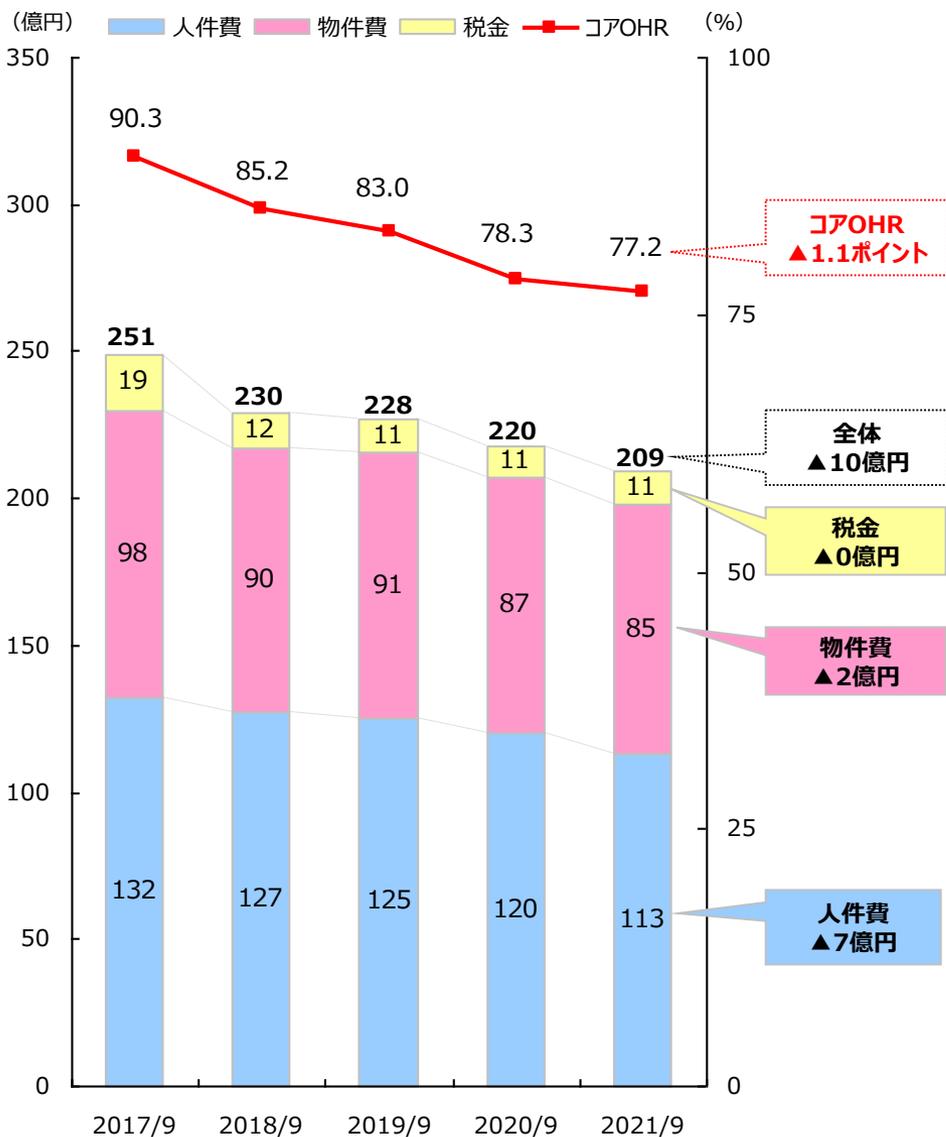
<役員取引等利益>

		(単位：億円)	
		2021/9期	前期比
収益	投資信託関連手数料	6	+2
	生命保険関連手数料	6	+3
	証券仲介取扱手数料	2	+1
	法人ソリューション手数料	8	+3
費用	一般保証料	9	+0
	団信保険料	27	+4

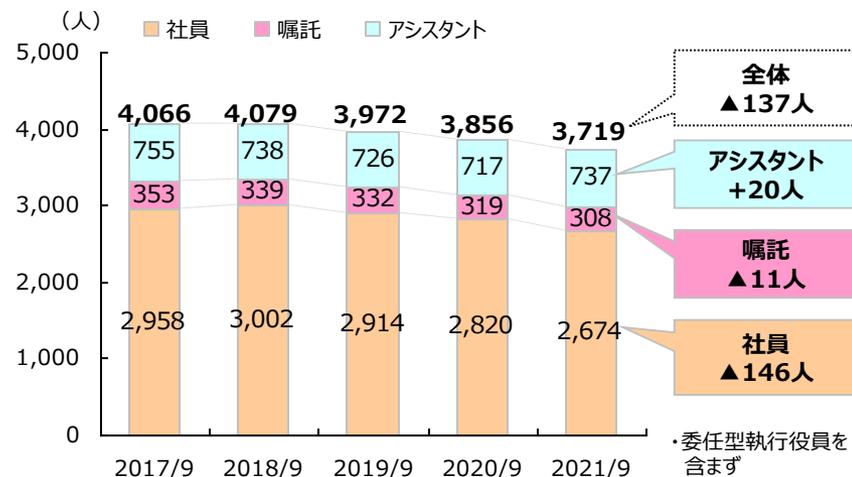
<その他業務利益>

		(単位：億円)	
		2021/9期	前期比
債券5勘定戻		9	+4
外国為替売買益		3	+1
金融商品損益		▲0	+1
貸出金関係損益		1	▲15

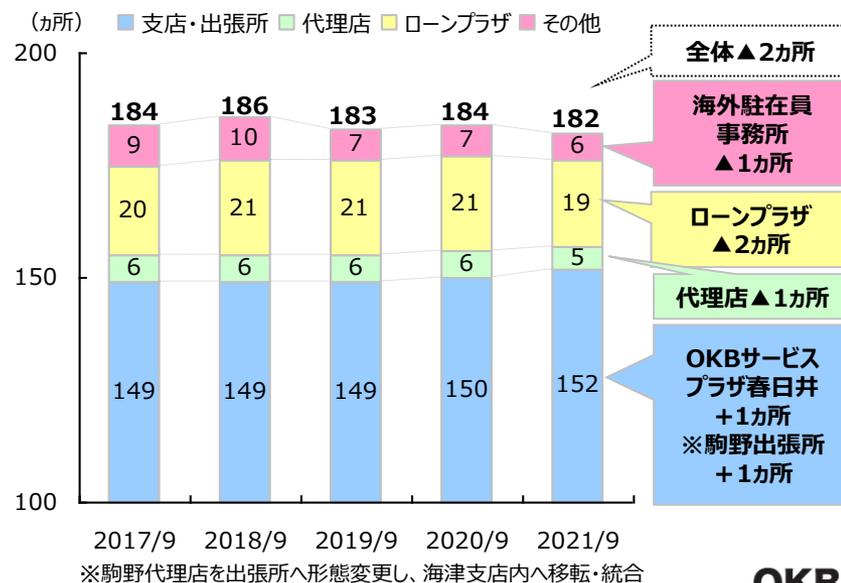
経費とコアOHRの推移



従業員数の推移

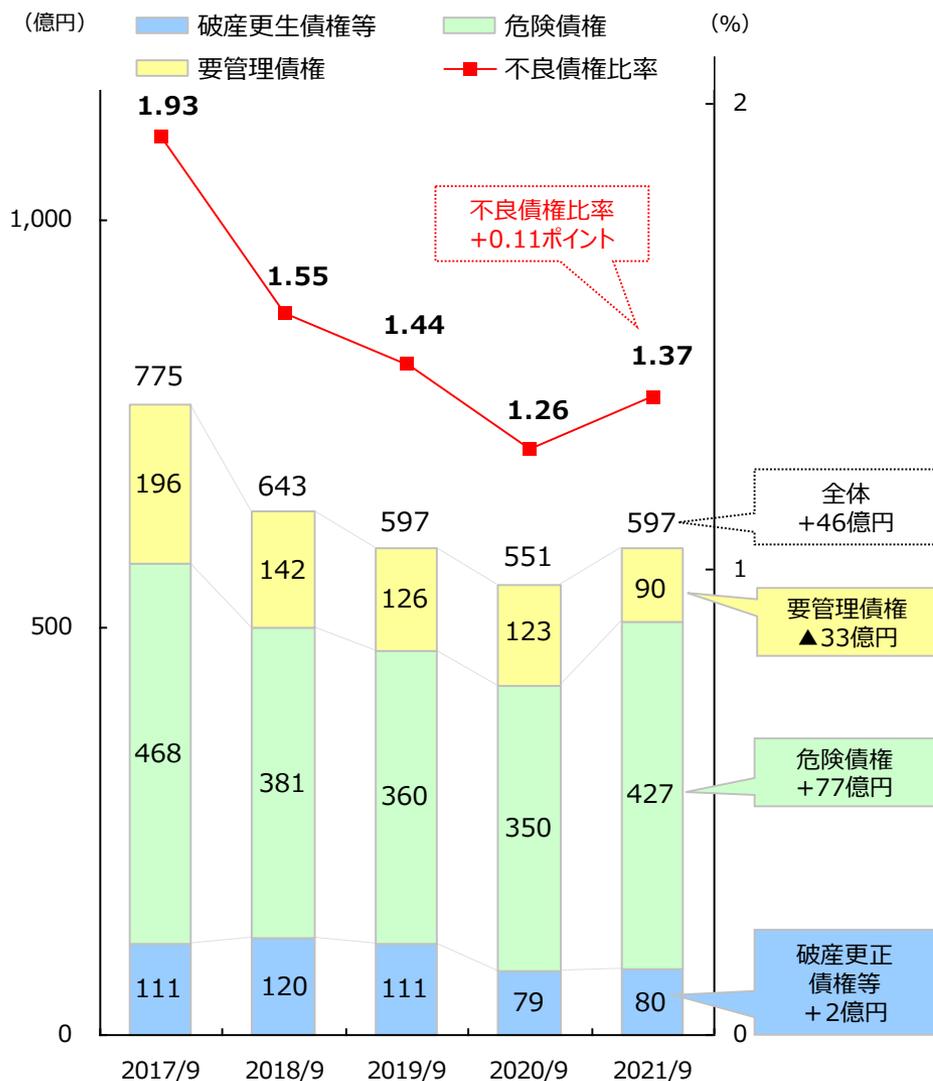


店舗の推移



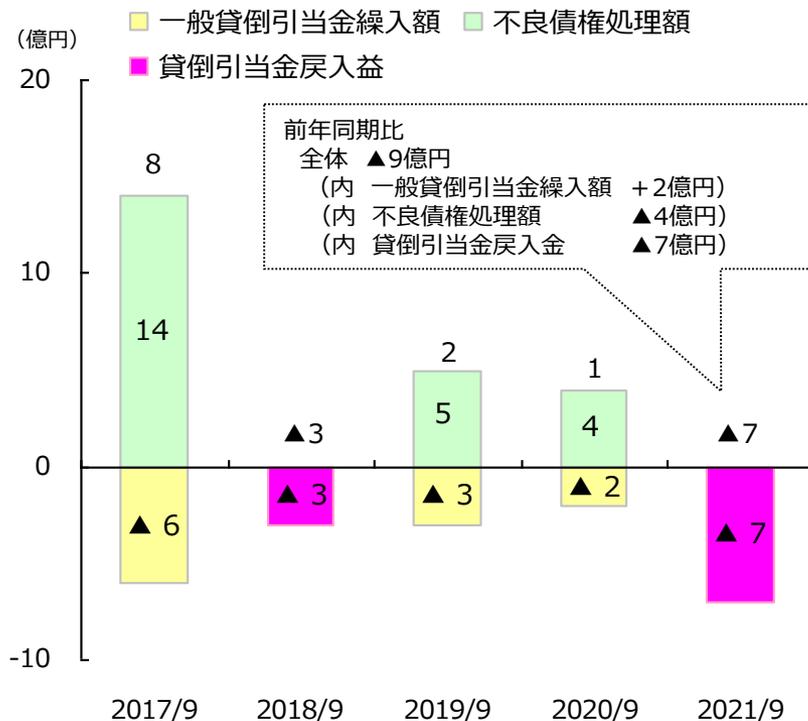
不良債権残高の推移

(金融再生法ベース)



<部分直接償却は実施していません>

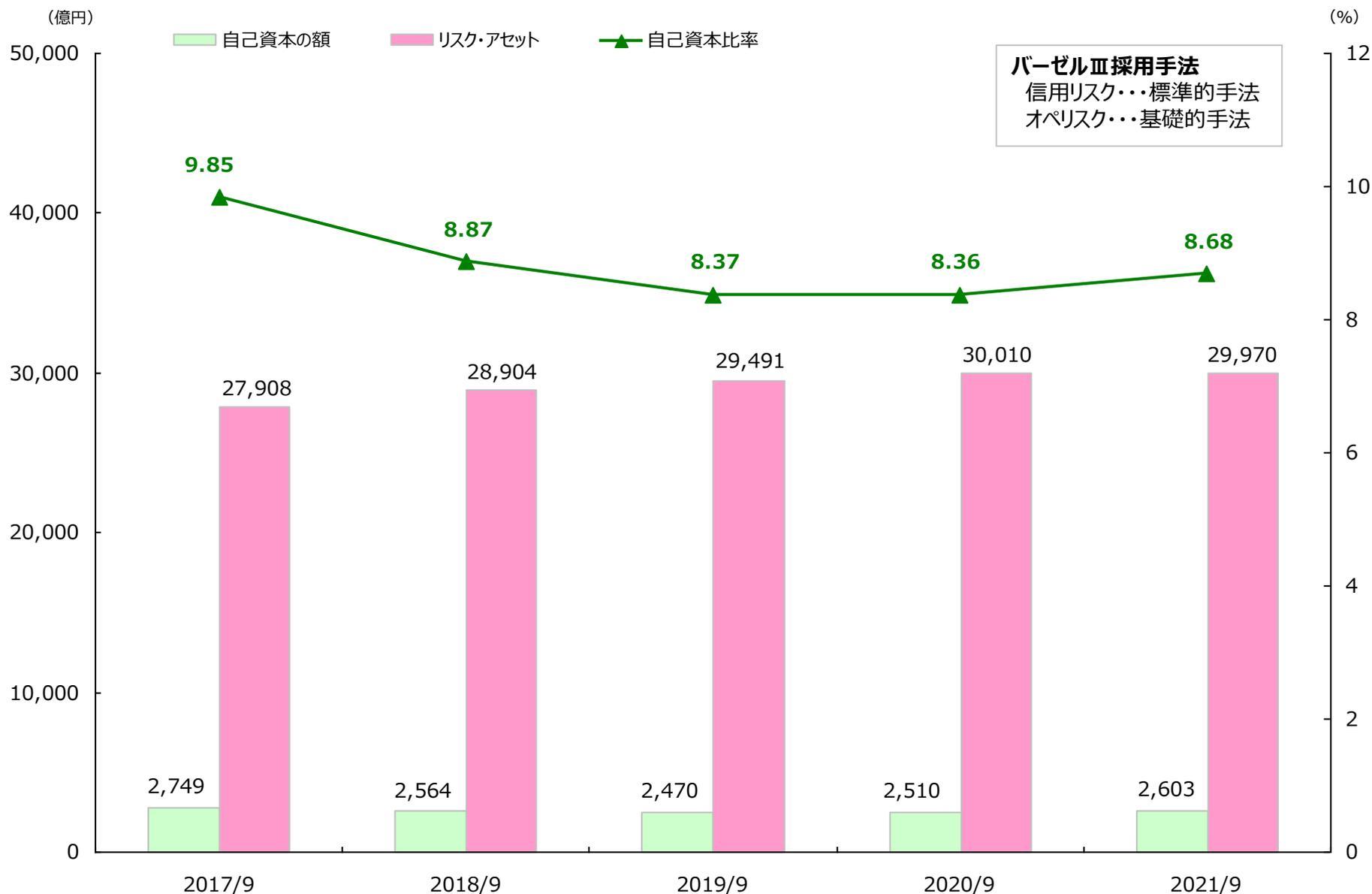
与信関係費用の推移

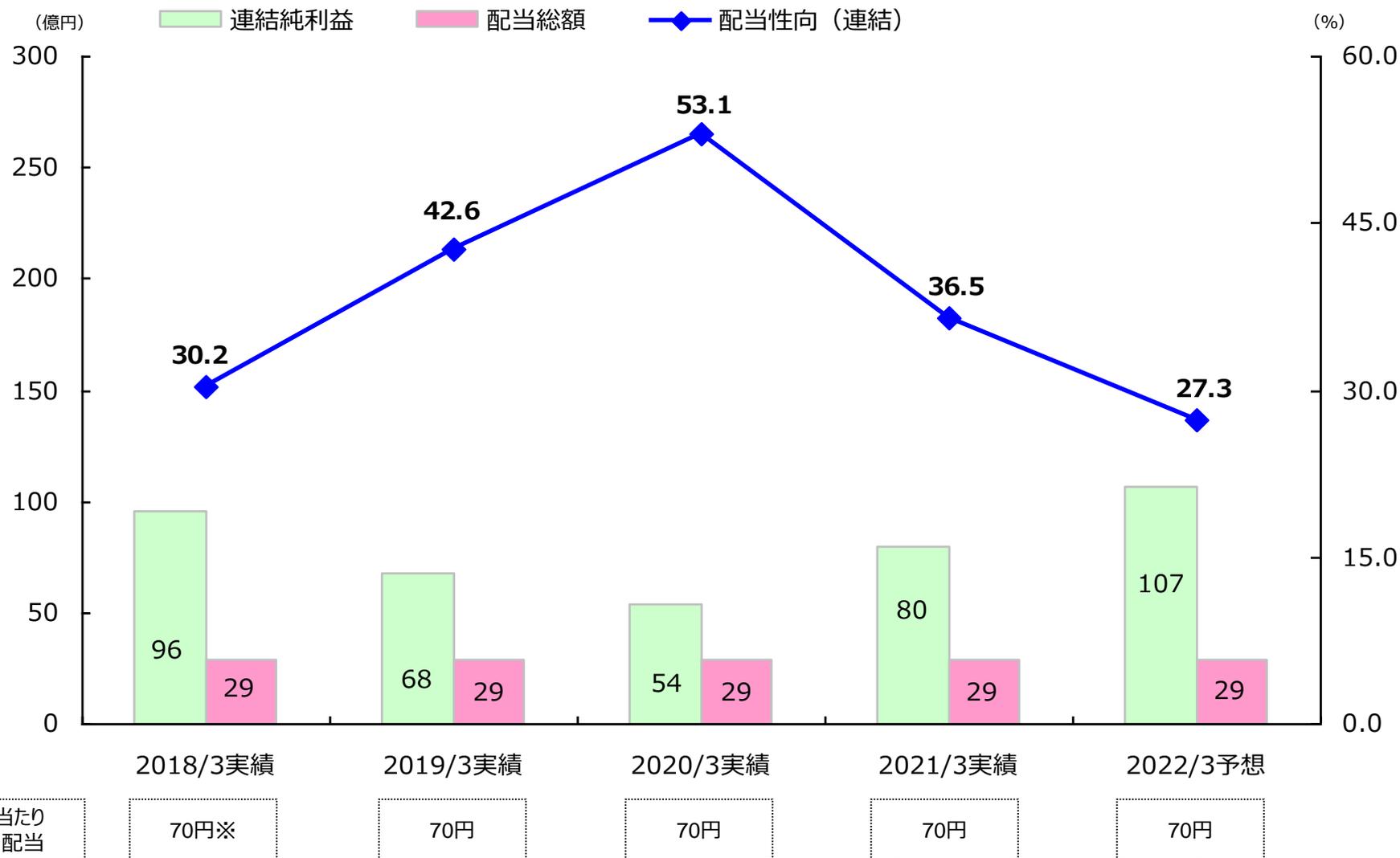


貸倒実績率の推移

	2017/9	2018/9	2019/9	2020/9	2021/9
正常先	0.017%	0.018%	0.006%	0.004%	0.033%
要注意先	0.571%	0.442%	0.464%	0.322%	0.563%

自己資本の状況（連結）





※ 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

I : 2022年3月期 中間決算概要

II : 2022年3月期 決算予想・中期経営計画

III : ESG・SDGsへの取り組み、基本理念

単体【単位：億円】	2020/3期 通期実績	2021/3期 通期実績	2022/3期 通期予想	2021/3期比 増減
経常収益	717	718	674	▲44
業務粗利益	548	591	570	▲21
資金利益	492	497	489	▲8
役務取引等利益	51	58	60	+2
その他業務利益	4	35	20	▲15
うち国債等債券損益（5勘定戻）… A	9	15	12	▲3
経費	457	440	432	▲8
人件費	248	236	226	▲10
物件費	185	179	182	+3
税金	23	23	23	0
実質業務純益（※1）	91	151	138	▲13
コア業務純益（※2）	81	135	125	▲10
一般貸倒引当金繰入額…①	▲6	10	3	▲7
業務純益	97	140	135	▲5
臨時損益	▲20	▲50	1	+49
不良債権処理額…②	8	60	2	▲58
うち個別貸倒引当金繰入額	8	60	2	▲58
株式等関係損益（3勘定戻）… B	▲1	17	10	▲7
経常利益	77	90	136	+46
特別損益	▲5	▲1	▲3	▲2
当期純利益	45	67	95	+28
有価証券関係損益（A+B）	7	33	23	▲10
与信関係費用（①+②）	2	70	6	▲64

※1 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

2022年3月期予想 前提

<貸出金>

前期比260億円の平残増加
(2021/3期 平残43,064億円)

<預金等>

前期比2,532億円の平残増加
(2021/3期 平残54,449億円)

<有価証券>

前期比1,161億円の平残増加
(2021/3期 平残12,906億円)

<金利シナリオ>

政策金利の変更なし

<株価水準>

2021年9月末株価程度

名 称	中期経営計画「Let's Do It！」 ～社員輝き 地域伸びゆく～
目指す姿	お客さまの共感と感動を呼び、地域に必要とされる企業グループ°
計画期間	2021年4月～2024年3月（3カ年）
基本戦略	<ul style="list-style-type: none">● コンサルティング型ビジネスモデルの強化<ul style="list-style-type: none">✓ カウンセリング・コンサルティング・コーチングを通じてお客さまの本業支援・課題解決を図るビジネスモデルの構築✓ 個人のお客さまのライフステージに合わせて適切な提案を行う体制の強化✓ コンサルティング型のビジネスを行うためのスキル明確化と人材育成プラン整備● お客さまとの接点強化<ul style="list-style-type: none">✓ 地域・お客さまのニーズに合わせた店舗の機能別再編✓ 非対面チャネル強化およびデータ利活用によるカスタマーエクスペリエンスの向上とお客さま接点の拡充● 業務プロセス改革<ul style="list-style-type: none">✓ 業務プロセスの見直し・業務のデジタル化による生産性向上、社員の働き方改革

項目	2024/3期 目標値	2022/3期 中間 実績値
(単体) 顧客向けサービス利益 (※1)	黒字化	▲3億円
(連結) 自己資本比率	8.3%以上	8.68%
(連結) コアOHR (※2)	75%台	78.5%
(連結) 当期純利益	95億円以上	65億円
(単体) 役務取引等利益比率 (※3)	13%以上	8.7%
事業先に対するコンサルティング提案件数 (※4)	3,300件以上	1,919件
個人に対するコンサルティング提案件数 (※5)	33,000件以上	15,095件

※1 預貸金利息 + 役務取引等利益 - 経費

※2 経費 ÷ コア業務粗利益

※3 役務取引等利益 ÷ コア業務粗利益

※4 事業計画策定支援件数・事業承継相談件数・ビジネスマッチング商談設定件数・医療・介護・教育事業者にかかる有益情報取得件数など

※5 預り資産提案件数・信託提案件数 など

◆ 営業店・本部・関連会社・提携企業が連携してコンサルティング・コンサルティング・コーチングを通じた伴走型支援により事業先の課題を解決

地域商社機能を活用した取り組み

地域事業者の付加価値向上・販路開拓・ブランド力向上などのニーズに対し、OKBのノウハウや知見、ネットワークを活かして幅広くサポートしています。



■ 取組事例



▲ オークランド観光開発 株式会社
さまが運営する「竜泉寺の湯」の
オリジナルアイテム(ヒームス監修)



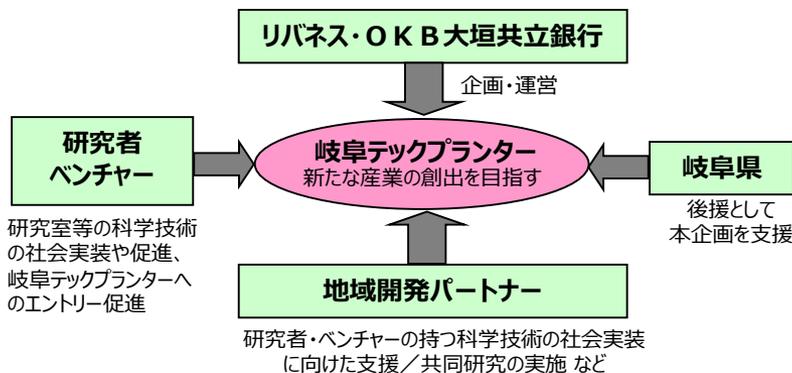
▲ 地域事業者とコラボした
株式会社 小島組さまの
ノベルティグッズ



▲ 鯰バス 株式会社さまの
特注トミカ

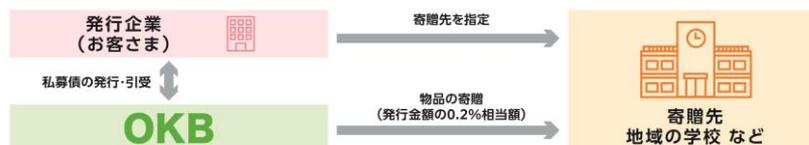
岐阜テックプランターへの参画

地元事業会社・大学などの研究機関・行政・金融機関の「産学官金」が一体となり有望な科学技術の社会実装を実現し、東海地区の将来を担う新たな産業創出をサポートしています。



SDGs 達成に向けた活動をサポート

OKB地域応援私募債（拍手喝債・SDGs 賛同型）は、OKBが引き受けた金額の0.2%相当額の範囲内で書籍・電子機器・衛生用品などを購入し、発行企業が指定する地域の学校や団体などに寄贈。企業の“SDGs 達成”に向けた活動をサポートしています。



◆リアルチャネルとデジタルチャネルを分けて考えず、一体として「お客さま目線」「お客さま体験志向〔CX（カスタマーエクスペリエンス）重視〕でマーケティング・ライフステージに沿った提案を実施

非対面チャネルの再構築

● ホームページのリニューアル

見やすさ、分かりやすさを追求し、大幅にデザインを刷新しました。



● WEB受付サービスの開始

“インターネット上の取引窓口”としてご利用いただけるよう、WEB上で本人確認ができる仕組みを導入し、来店も印鑑も不要で、OKBのホームページから「預金口座新規開設」や「届出事項変更」などの各種手続きが可能となりました。

データ利活用によるCX向上

● パーソナルレコメンドサービス「L i F i t」の取扱開始

スマホアプリ「OKBアプリ」のバージョンアップを実施し、お客さま一人ひとりに寄り添った“お金との向き合い方”を提案するパーソナルレコメンドサービス「L i F i t（ライフフィット）」の取り扱いを開始しました。



- 家計の“ミエルカ（見える化）”
お客さまの家計や銀行口座の入出金を“ミエルカ”
- お金に関する“気づき”の提供
レコメンドを配信し、お金に関するさまざまな“気づき”をお届け
- お金の体づくりをサポート
レコメンドを通じてお金の体づくりをサポート

金融の枠を超えた新たなサービス拠点

● OKB そうだん広場の設置

お客さまのさまざまなニーズにお応えする「よろず屋」的なサービス拠点を設置。資産運用やローンはもとより、“どんな”相談でも承り、OKBのネットワークを活用した最適なお提案を行います。

【ご相談事例】

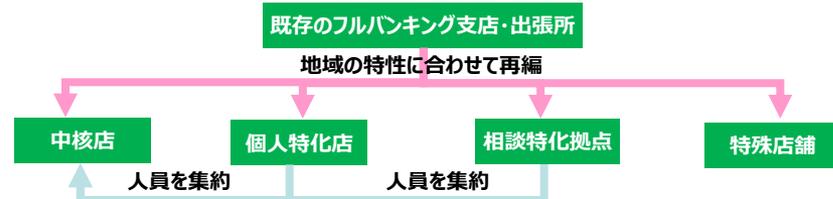
- ・家計の見直し
- ・資産運用
- ・各種ローン
- ・インターネットバンキング
- ・OKBアプリ など



店舗ネットワークの最適化

● 店舗運営の効率化／経営資源の最適な配分

地域特性に合わせて既存店舗を機能別に再編し、店舗ごとの役割に特化することにより、効率的な営業体制の構築を図っています。



◆市町村や地元事業者などとの連携を通じて、地域経済や地域産業の活性化に向けた積極的な取り組みを推進

地域のDX促進に向けた取り組み

●養老町のDXを推進

養老町独自のスマホアプリ「養老 P a y」の導入をサポート。
 <養老 P a y>
 OKBとキャッシュレス分野で提携する、GMOペイメント
 ゲートウェイ 株式会社が提供するQRコード決済サービス

●滋賀大学との“データサイエンス分野”における連携協定

データや統計を分析してビジネスに活用する“データサイエンス
 分野”での教育、研究および応用において相互に連携・協力
 し、新たな価値の創出や人材の育成を行うなど、地域活性化
 に向けたDXを推進しています。

地域企業と連携した取り組み

池田町「大津谷公園キャンプ場」
 は、場内や近隣のゴミ投棄など
 が問題視され、2020年8月より
 キャンプ利用が禁止となっていま
 した。地域企業である株式会社
 ヒマラヤと協業し、本キャンプ場の
 再解放に向けて、有料化実証
 実験を行っています。



地域の特産ブランド開発をサポート

“町民×プロフェッショナル×生産者”の共創
 による新たな養老町特産ブランドの開発を
 目的とした“新商品共創ワークショップ”の
 企画運営を行っています。

<新商品共創ワークショップ>

商品開発やマーケティングなどのノウハウを
 持つプロフェッショナル企業を講師に迎え、
 町内事業者や町民・町内在勤者が
 新商品開発を行う



遺言を活用した遺贈寄付に関する協定

2019年12月以降、東海3県の自治体との「遺贈寄付に関する
 協定」の締結を進めています。銀行本体で信託業務の取り扱いが
 可能なOKBならではの取り組みとして、相続対策や資産承継
 などのニーズに幅広くお応えしています。

岐阜県	大垣市、瑞穂市、池田町、揖斐川町、関市、可児市、北方町、海津市、関ヶ原町、川辺町、各務原市、輪之内町、養老町、神戸町、羽島市、安八町、垂井町、美濃加茂市、大野町、白川町、東白川村、多治見市、高山市（23市町村）
愛知県	小牧市、幸田町、大府市（3市町）
三重県	桑名市（1市）

I : 2022年3月期 中間決算概要

II : 2022年3月期 決算予想・中期経営計画

III : ESG・SDGsへの取り組み、基本理念

OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Environment (環境)



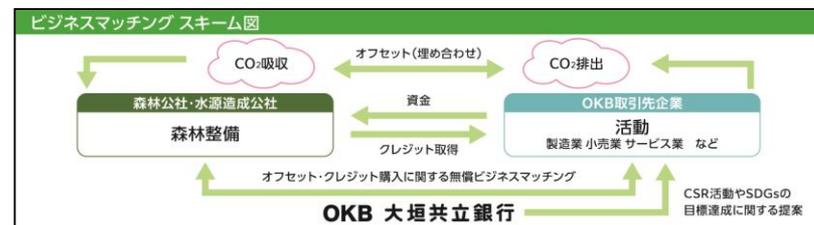
OKB森林共和国での森林保全活動



2015年5月に岐阜県および揖斐川町と「『OKB森林共和国』における恵みの森林づくり協定」を締結し、「OKB森林共和国」を建国。森林再生に向け植樹活動などを行うとともに、林業現場への理解を深めるべくVR(仮想現実)技術を活用した伐木体験を実施。

カーボン・オフセット推進をサポート

2021年8月から、公益社団法人 岐阜県森林公社および公益社団法人 木曾三川水源造成公社との無償ビジネスマッチングに基づき、森林保全への貢献を目的とする「オフセット・クレジット」を取引先企業に紹介しています。



CO₂排出量の削減に貢献

株式会社 ネクシーズとのLED照明などの省エネ関連機器導入に関するビジネスマッチング契約に基づき、取引先の省エネ化に貢献。10月末時点での電力削減量は取引先全体で2,223MWh (CO₂排出量換算で1,016t相当の削減)となっています。

■ ビジネスマッチング実績 (2021年10月末時点)

区分	実績
成約社数	169社
成約件数	222件

内訳

件数内訳	実績
LED照明	142件
新型コロナ関連設備	60件
業務用空調	14件
厨房機器	4件
その他	2件

地域の焼却ごみの減量化 / CO₂削減に貢献

2015年9月、地元企業が岐阜県大垣市南部で運営する農場の命名権を取得し、「OKB農場」を開場。同農場では地域の6次産業化の拠点を目指し、農作物の生産・加工・販売に取り組むとともに、大垣市からの委託を受け、従来、焼却処理されていた堤防の刈草などをたい肥化し、同農場に受け入れることで、地域の焼却ごみの減量化・CO₂の削減に貢献しています。

OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Social (社会)



被災地の復興を応援

手のひら認証の登録者に応じてOKBが寄付を行う「OKB『15歳から君にできること』キャンペーン」を実施しました。キャンペーンでは、登録者数に応じた寄付金1,704,000円に創立125周年を迎えたOKBからの寄付金1,250,000円を加え、総額2,954,000円を公益社団法人ハチ基金に寄付しました。



OKB「15歳から君にできること」キャンペーン
君の手のひらが被災地の希望に

フードバンク活動の推進

企業や個人から譲り受けた余剰食品を施設や家庭に無償提供する活動を行う“フードバンクぎふ”と「フードバンク活動に関する連携協定」を締結。第一弾の取り組みとして、OKBの3拠点(OKB ぞうだん広場 荒尾、藤江・笠松支店)に余剰食品収集場所を設置しました。また、OKBグループ役員から募った食品約2,400点とフードバンクぎふサポーター406名から集まった442,000円を“フードバンクぎふ”へ贈呈しました。



「災害に強い地域づくり」への貢献

株式会社NTTドコモ東海支社と「災害時の連携に関する協定」を締結。災害時に使用する携帯電話用充電器をOKB店舗に配備しました。また、災害時はOKBの移動店舗などによる被災地や帰宅困難者へのサポートを行うとともに、OKBの店舗敷地をNTTドコモの災害復旧活動拠点として活用します。



マルチチャージャ▲

「健康口座」の取扱開始

全国初

少子高齢化や医療費の高騰などにより医療費負担のあり方が社会的な問題となるなか、お客さまの健康・医療に関する悩みを解消するサービスが付帯された「健康口座」の取り扱いを開始しました。また、大垣西濃信用金庫および医療系ベンチャーの日本メディカルビジネス株式会社と「健康口座」の普及に向けた連携協定を締結。岐阜県大垣市を「健康口座」のスタート地と定め、商工会議所とも連携しながら、市民や医療機関へ「健康口座」を普及・推進しています。

外部機関からの評価

厚生労働大臣表彰を受賞

OKBは“地域社会への貢献”を目的に1996年「社会貢献推進委員会」を発足し、2016年から名称を「OKB社会貢献クラブ」として地域と連携を図りながら社会貢献活動を推進しています。今般、OKB社会貢献クラブが主体となって取り組んできた献血推進活動に対して「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

企業フィランソピー大賞（特別賞）を受賞

第18回 企業フィランソピー大賞において、「企業フィランソピー賞“安心を届ける手のひら賞”」を受賞しました。手のひらだけで銀行取引ができるOKBの「手のひらソリューション」など“お客さま目線”“地域とともに”を具現化する取り組みが評価されました。

OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Social（社会）

新型コロナウイルス感染症対策 — お客さまへのサポート

資金繰りなどに関する「相談窓口」の設置

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた企業や個人事業主のお客さまからの「資金繰り」などの各種ご相談にお応えするため、対応窓口を設置しました。

「緊急対策融資」「緊急対策ローン」の取り扱い

新型コロナウイルスの感染拡大による資金面での不安を解消いただくため、企業・個人事業主・個人のお客さまを対象に「緊急対策融資」「緊急対策ローン」を取り扱っています。

「OKB地域産品応援運動」の実施



地域の事業者の皆さまを応援するため「コロナに負けない地域を創ろう！OKB地域産品応援運動」を実施しています。地域の事業者の皆さまが手がける“優れた一品”“自慢の一品”をOKBのオリジナルPRツールで広く紹介しています。

コロナ関連融資の状況

	全体		実質無利息・無担保	
	件数 (件)	金額 (億円)	件数 (件)	金額 (億円)
2020年9月末	6,099	2,246	4,568	873
2021年3月末	8,872	2,968	6,916	1,351
2021年9月末	10,167	3,407	7,882	1,600

資金繰り支援を中心にお客さまをサポートし、2021年9月末時点において、全体で10,167件、3,407億円のコロナ関連融資を実行しました。資金繰りはもとより、何でも相談できる「まちのかかりつけ金融機関」として、一人ひとりのお客さまに対し、One to Oneの付加価値をタイムリーかつ適切に提供していきます。

新型コロナウイルス感染症対策 — 感染拡大防止に向けた取り組み

飛沫感染防止アクリル板の設置

お客さま・従業員の飛沫感染リスクを低減するため、店舗窓口にアクリル板を設置しています。



ATMコーナーなどの清掃

接触感染によるお客さまの感染リスクを低減するため、ATMコーナーなどを定期的に清掃しています。

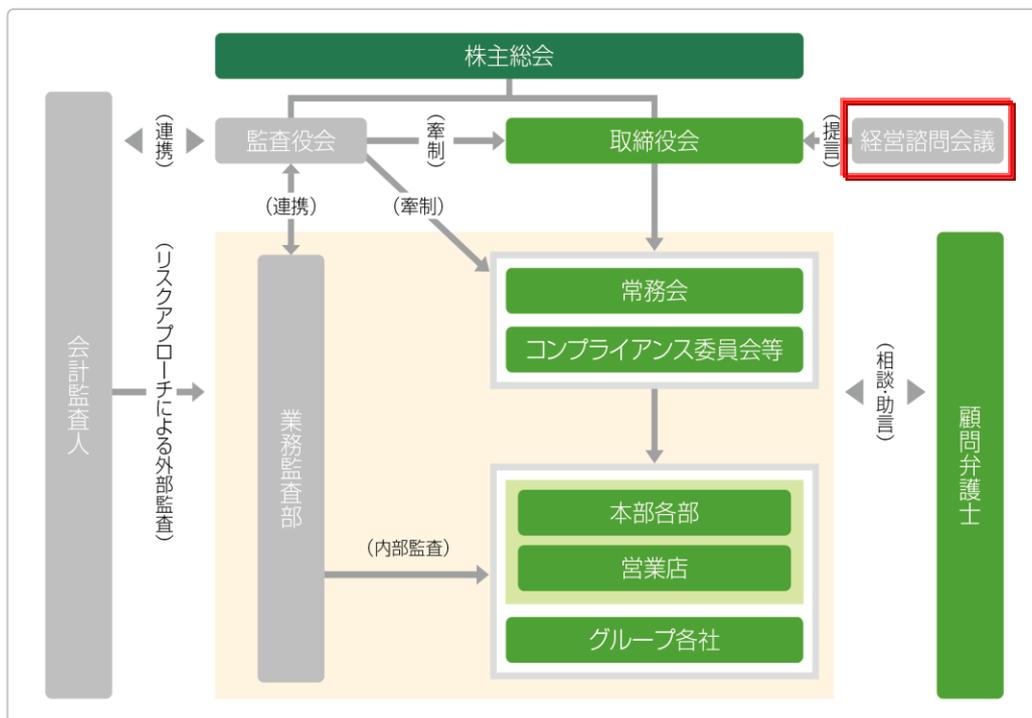


OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Governance（ガバナンス）



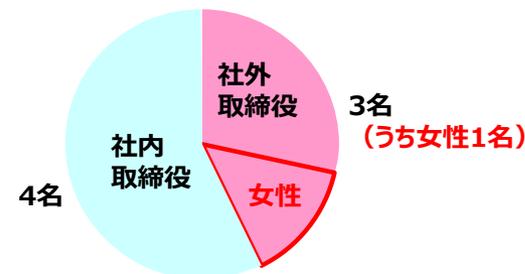
経営諮問会議の設置



取締役会の任意の諮問機関である経営諮問会議を設置しています。経営諮問会議は社内取締役、社外取締役、社外監査役で構成され、取締役の指名・報酬などについて提言を行っています。

透明性・客観性の向上

2020年より女性社外取締役1名を選任し、従来とは全く異なる新しい視点から、経営全般に対して適切な提言や助言をいただけるようになりました。



社外取締役比率 **約43%** (2021年6月1日現在)

委任型執行役員制度 (統括執行役員)の導入

経営の意思決定・監督と業務遂行を分離し、取締役会の機能強化ならびに業務運営の迅速化を図るため、委任型執行役員制度を導入しました。取締役会からの委嘱を受けてOKBグループの主要部門を統括し、業務執行の陣頭指揮をとっています。

基本理念

地域に愛され 親しまれ 信頼されるOKB

金融業からサービス業への挑戦!
「すべてはお客さまの目線から」
徹底した顧客満足度の追求

全国初の新商品・サービス

独自性へのこだわり

地域とともに

脱・銀行

ATM革命
革新的な店舗づくり

フィンテックへの挑戦

OKBブランドの確立

地域における存在感の極大化

【本資料に関するご照会先】

OKB大垣共立銀行 広報部 横畠

TEL : 0584-74-2248

FAX : 0584-74-2512

E-mail : kouhou@okb.co.jp

URL : <https://www.okb.co.jp>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによるリスクや不確実性を内包するものであることにご留意ください。